

2010年(平成22年)12月期 第1四半期 財務・業績 概況

株式会社 ノーリツ

本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

2010年(平成22年)12月期 第1四半期 連結経営成績①

経営環境は依然として厳しいが
増収増益となった。

(単位：百万円)

連結	09年(H21)12月期	10年(H22)12月期	
	第1四半期	第1四半期	対前年 増減率
売上高	42,661	44,401	4.1%
営業利益	791	2,928	270.0%
経常利益	1,221	3,094	153.3%
四半期純利益	981	1,639	67.1%

2010年(平成22年)12月期 第1四半期 連結経営成績②

●営業利益増減要因

(単位:億円)

連結営業利益増減要因 (前年対比)	金額	
	プラス	マイナス
台数増減や商品ミックスなど	24.9	
販売価格変動		△ 5.0
原材料費変動	3.9	
製造費用増減	1.2	
販管費増減		△3.7
為替影響	0.1	
合計	30.1	△ 8.7
営業利益増減額	21.4	

◇温水機器、住設システム商品
ともに販売台数が増加した。

◆温水機器の競争激化と
住設システム商品での普及価格
帯商品増加により、売価率が
悪化した。

◇原材料費、製造費用低減は
計画以上に進捗した。

◆業績連動型賞与制度のため
賞与引当金繰入額が増加した。

2010年(平成22年)12月期 第1四半期 連結経営成績③

●経常利益、四半期純利益増減要因◇営業外収支について

(単位: 億円)

連結営業外収支増減要因 (前年対比)	金額	
	プラス	マイナス
為替差益		△2.7
受取利息・配当金ほか	0.1	
合 計	0.1	△2.7
営業外収支増減額	△2.6	

◆営業外収支は為替差益が減少し2.6億円(前年同期比)悪化した。経常利益は153.3%増(前年同期比)となった。

◇四半期純利益について

◆投資有価証券評価損を3.3億円計上したが特別損失は9.3億円(前年同期比)減少した。四半期純利益は67.1%増(前年同期比)となった。

2010年(平成22年)12月期 第1四半期 セグメント情報

(単位:億円)

連結	09年(H21)12月期 第1四半期		10年(H22)12月期 第1四半期			
	売上高	営業利益	売上高	対前年増減率	営業利益	対前年増減率
国内温水空調機器	277	10	282	1.7%	24	126.7%
海外温水機器	32	1	44	35.1%	3	320.0%
住設システム機器	42	△5	43	2.3%	△1	—
厨房機器	54	△1	53	△0.3%	0.5	—
その他事業	19	2	20	2.7%	1	△15.1%
連結合計	426	7	444	4.1%	29	270.0%

◇国内温水空調機器

- ・温水機器需要が前年横ばいの中、販売台数は2%増加(前年同期比)し、温水空調機器事業は増収増益となった。なかでも、エコジョーズの需要は26%増加し、販売台数が30%増加した。エコジョーズ比率も4.3pt増加した。

◇住設システム機器

- ・普及価格帯システムバスが好調で販売台数が2.3%増加(前年同期比)した。システムキッチン、洗面化粧台の販売台数も、ともに約15%(前年同期比)増加し、住設システム事業は増収、黒字化に前進した。

◇厨房機器

- ・キッチンメーカー向けの販売が落ち込み減収となった。しかし、販売台数は前年横ばいで踏みとどまった。取り替え需要での付加価値商品の販売台数が増加し、厨房事業の黒字化が図れた。

2010年(平成22年)12月期 第1四半期 主要品群販売台数 (参考資料)

(単位:千台)

連結		09年(H21)12月期 第1四半期		10年(H22)12月期 第1四半期				
		台数	シェア	需要	前年比	台数	前年比	シェア
温水機器	ガス風呂釜	162	39.1%	432	104.1%	169	104.5%	39.3%
	ガス給湯器	113	35.4%	303	94.8%	109	96.6%	36.0%
	石油給湯器	32	39.0%	90	108.7%	36	111.4%	40.0%
	小計	308	37.7%	826	101.0%	315	102.3%	38.2%
	SB(戸建)	6	4.3%	145	101.0%	6	102.3%	4.3%
	SK(戸建)	2	1.7%	130	96.7%	2	115.8%	2.0%
	洗面	23	5.7%	370	89.4%	27	114.6%	7.3%
	ビルトインガスコンロ	82	35.0%	235	101.0%	83	100.1%	35.3%

※SB、SK、洗面の需要は1,2月は実績、3月は予測値

※ビルトインガスコンロは1口除く

2010年(平成22年)12月期 第1四半期 海外事業

(単位:億円)

連結	09年(H21)12月期 第1四半期		10年(H22)12月期 第1四半期			
	売上高	営業利益	売上高	対前年増減率	営業利益	対前年増減率
北米	13 (14百万US\$)	—	14 (15百万US\$)	7.7%	—	—
アジア	16	—	25	56.3%	—	—
その他	5	—	6	20.0%	—	—
合計	33	1	45	36.4%	4	300.0%

- ◇売上高
- ・北米 : 高効率給湯器(コンデンシング)の販売台数が増加し増収となった。
 - ・中国 : 好調な市場を背景に、販売台数を計画以上に伸ばし増収となった。
- ◇営業利益
- ・北米 : 高付加価値商材の拡販により、売価改善が図れ増益となった。
 - ・中国 : 工場統合による原価低減と付加価値商材拡販により増益となった。

2010年(平成22年)12月期 連結経営成績予想 修正①

● 通期連結経営成績予想 修正

(単位:百万円)

連結	09年(H21)12月期		10年(H22)12月期					
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計 当初公表値	第2四半期累計 修正公表値	対前年 増減率	通期 当初公表値	通期 修正公表値	対前年 増減率
売上高	80,034	169,350	79,000	82,500	3.1%	169,000	172,500	1.9%
営業利益	862	4,369	600	2,700	213.1%	4,500	6,000	37.3%
経常利益	1,424	4,821	800	3,300	131.7%	4,900	6,700	39.0%
純利益	707	838	△ 100	1,700	140.2%	2,000	3,500	317.2%

2010年(平成22年)12月期 連結経営成績予想 修正②

● 通期連結経営成績予想 修正 セグメント

(単位:億円)

連結	09年(H21)12月期				10年(H22) 12月期											
	第2四半期累計		通期		第2四半期累計						通期					
	売上高		営業利益		売上高			営業利益			売上高			営業利益		
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	当初公表値	修正公表値	対前年増減率	当初公表値	修正公表値	対前年増減率	当初公表値	修正公表値	対前年増減率	当初公表値	修正公表値	対前年増減率
国内温水空調機器	491	9	1,031	34	478	504	2.6%	5	20	122.2%	1,000	1,025	△0.6%	27	36	5.9%
海外温水機器	74	2	151	3	74	86	16.2%	1	5	150.0%	160	171	13.2%	5	8	166.7%
住設システム機器	86	△8	178	△13	92	87	1.2%	△2	△2	—	195	190	6.7%	△3	△3	—
厨房機器	108	0	250	9	105	108	0.0%	△1	1	—	250	253	1.2%	8	11	22.2%
その他	39	4	81	10	40	40	2.6%	3	3	△25.0%	85	85	4.9%	8	7	△30.0%
連結合計	800	8	1,693	43	790	825	3.1%	6	27	213.1%	1,690	1,725	1.9%	45	60	37.3%

2010年(平成22年)第1四半期 設備投資額・減価償却費・研究開発費

●設備投資額・減価償却費・研究開発費の状況

(単位:億円)

連結	設備投資額			減価償却費			研究開発費		
	09年 (H21) 12月期	10年 (H22) 12月期	第1四半期	09年 (H21) 12月期	10年 (H22) 12月期	第1四半期	09年 (H21) 12月期	10年 (H22) 12月期	第1四半期
国内	40	53	9	55	56	10	—	—	—
海外	4	4	0.7	4	4	1			
合計	45	58	9.8	60	61	11	51	51	13
(内)金型投資	(17)	(19)	(4)						